

◆主題名

思いやりへの感謝

内容
項目

B

6

夜のくだもの屋

価値
項目

1・②・3・4

家族などの支えや多くの人々の善意により、日々の生活や現在の自分があることに感謝する。

本時のねらい

人は多くの人々のさりげない善意や思いやりによって支えられ、守られていることに気づき、それに感謝しようとする態度を育てる。

Link

中心となる発問を主題とつなげるために、どんな発問をしておけばよいだろうか。

- ① 暗い夜道を一人で歩くときはどんな気持ちになるだろう。
- ② くだもの屋のあかりを見た時の少女は、どんな気持ちだっただろう。
- ③ おばさんのたのしそうなハミングが店の奥から聞こえてきたとき、少女はどんなことを思っただろう。

◆テーマ (中心となる発問)

自分のために店に明かりをつけてくれたことを知ったとき、少女はどんなことを思っただろう。

ねらいとする価値に迫るために

学び合い活動	場面発問①	場面発問②	場面発問③	中心となる発問
◆学び合い活動のねらい	なぜ学び合う活動をさせるのか、その意図を明確に。			
	変容をねらう	多様さに気付かせる	自分の考えを深めたり広げたりする	
	その他()			
学び合う活動のねらいを達成するための手立て				
1 心情円盤 2 ネームプレート 3 付箋紙 4 心のものさし 5 ICT 6 その他				
学び合う活動のスタイル				
1 フリー 2 ペア 3 グループ 4 その他()				

◆最後の振り返り

この時間を通しての「本音」が聞けるように！

あなたが最近「ありがとう」と言ったり、思ったりしたことは、どんなことがありますか。できるだけたくさん書いてください。(5分)
改めてそれをみて、どう思いますか。

【留意点・板書等】

最後の振り返りを「今日の授業を受けての感想を書きなさい」ではなく、たくさん浮かべた「ありがとう」の場面を見て感じたことを書くようにする。

【授業後の反省】

学び合い活動を中心発問で行ったが、答えが同じようなものばかりで、あまり意味がなかったように感じた。発問③か、最後の振り返りのところで、「『ありがとう』と言ったり思ったりしたことはどんなことがありますか」で行ってもよかったなと思った。
最後の振り返りの形式で生徒たちは答えやすそうだった。